

平成24年7月26日(木)

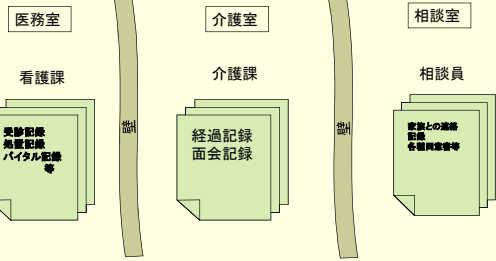
フォーカスチャータリングの導入とその後



特別養護老人ホーム 天間荘
スキルアップ記録委員会
介護士 長谷川信也

1. なぜ書式の変更にいったのか？

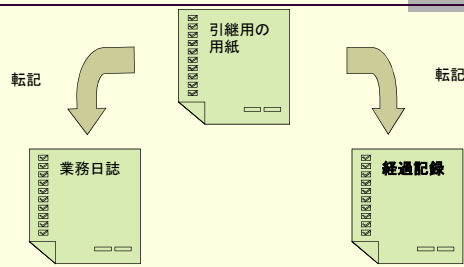
(~平成18年)



個人記録がバラバラで管理

1. なぜ書式の変更にいったのか？

(~平成18年)



転記作業が無駄！！

1. なぜ書式の変更にいったのか？

(~平成18年)

名前	要観察者一覧 内容
鈴木A様	臀部に1cm四方の皮剥けある。
後藤B様	右足付け根の痛みの訴えある。
望月C様	一日を通して傾眠的である。

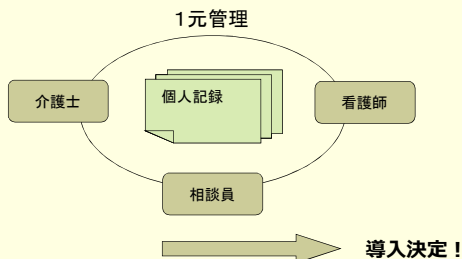
プライバシーの配慮なし！

随時決められて実行し、評価する記録がない！

1. なぜ書式の変更にいったのか？

(~平成18年)

平成18年 スキルアップ委員会 (入浴、排泄、環境、食事、記録) 発足



2. フォーカスチャータリングの導入にあたって

平成19年

2-1 フォーカスチャータリングの簡単な説明

フォーカスチャータリングとは、コラム形式の利用者の系統的経過記録である*

日時	F	DAR	記載者

F: 利用者の兆候、症状、ケアニーズ、生活上の出来事 等

D: Fを支持する(根拠、証拠、裏付けとなる)主観的、客観的情報 等

A: 介護ケアの内容

R: 介護ケアに対する利用者の反応 等

* 出典 「だれでもわかるフォーカスチャータリング介護編」 川上千英子 著

2. フォーカスチャータニングの導入にあたって

平成19年

2-2-1 導入にあたり、検討したことと結果



利用者様に関する事項は経過記録を読めば済むはずなので引継ノートに書く必要はないのでは？

転記を無くすため利用者様に関する事項は引継ノートから無くそう！！

→ ユニット内の重要な申し送り事項が1冊のノートに書かれているので複数のファイルを読む必要がないという利便性には変えられない！

→ 無くすことが出来ず！

★ ただし利用者様に関することは必ず経過記録に書くことをお願いした

7

2. フォーカスチャータニングの導入にあたって

平成19年

2-2-2 導入にあたり、検討したことと結果



経過記録を出動して毎日全員読むなら、引き継ぎも無くし時間も省けるかも？

出動したら経過記録は全員分読み、引継ぎを無くそう！

- 20数名を出動して全部読むのは大変！
- きちんと読んだか確認をとれるのか？
- 必要な情報を直接、顔と顔を合わせて伝えた方が共有できないか？

→ 引継ぎを無くすことはできない！

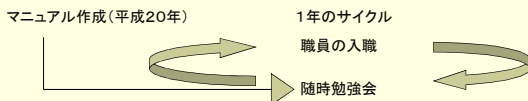
★ 全員分読まない代わりに、その日の記録を書いた利用者様の名前を引継ぎノートに書くことにした

8

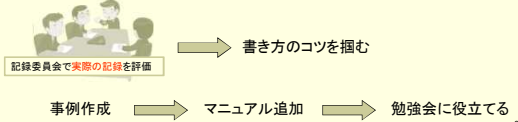
3. フォーカスチャータニング運用の過程

平成20年

3-1 勉強会の実施（平成20年～現在）



3-2 記録委員の勉強と事例作成（平成21年）



9

3. フォーカスチャータニング運用の過程

平成22年

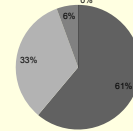
3-3 記録のチェックと集計（平成22年）

フォーカスを始めて3年経ち、記録委員会の活動の評価を行う

*「天間荘記録のチェックポイント」より抜粋

1. フォーカスを総読みして内容を大まかに把握できるよう意識して書いているか？

■ほぼ出来ている ■どちらとも ■あまり出来ていない ■無回答



フォーカスの意味を理解しつつある職員が過半数。

10

3. フォーカスチャータニング運用の過程

平成23年

3-4 介護課で行っている処置を記録に残す（平成23年）



P/Aの利用

- ・いつ始まっていつ治ったのが明確になる
- ・薬を塗布した場合記録を残す習慣が出来始める

11

4. 本発表のまとめと課題

4-1 フォーカスを導入してよかったこと

・看護師が薬の変更や処置に関して直接書くので誤解がなく、相談員などの、家族との連絡記録など、今まで見ることがなかった記録が継続してかかれているので、多職種で関わって、ケアしていることを全体で把握できる

・個人記録を見ることが状況を整理して把握できる

・フォーカスを活用した記録でよいケアにつなげられる（平成23年の例）

- ・決められたことをしっかり行うことが出来る
- ・異常があった場合、以前の対応を参考に行うことができる
- ・早く治してあげるといった積極的な姿勢が生まれる

・見るとき、どこに求めている情報が書かれているか探しやすい

12

4. 本発表のまとめと課題

4-2 さらなる課題

・ケアに生かせるようになるためには、実際に記録が書かれる必要がある。

・変化の少ない利用者様の記録が経過記録に残らない

→ 1週間に一度は書くことになっているが、義務的な思いがあり、書く内容もマンネリ化している。

・出来事を見分け、フォーカスを上手に書くのは一朝一夕にはいかない。

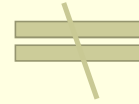
→ 日常の介護を広い視点で眺めつつ、必要な観点を適切に読み取る能力を高める努力をしていかなければならない。ただ単に記録を書くのではなく、なぜ記録をするのか等、意味合いの理解が必要

13

4. 本発表のまとめと課題

4-3 今後の取り組みとして

フォーカスチャーターティングの導入



行ったこと、気付いたことを**実際に記録に残す**ことが大事！！

14

ご清聴ありがとうございました

15